

張小江

文

國一國

日

種

心



日
舎
伎
曲
身
音
替



藏
書
印

上編三九

あ
の
み

倭むらさき

田舎

むらさき



第九編 上冊

仙臺堂 貞画

梓



元禄十一年印本 水ヒラメ集 量足袋やすゑつむらさきの あり衣袴 艶士



倭紫田舎源氏第廿三編叙

楠死で犬平記花和尚悟く水許傳をもく源氏も須六
陽石の月よかれる落雲の巻あつる讀者の眼氣のさそ知多
田舎源氏の殊更に婦女子に見まる冊子るまをさつとを書漏
玉葛の巻あつる花さつと御見物の歌かこぬでよらんるる用世派と
や者ありかさまを思ひさるるを以編の濛標と蓬生の打て
か関屋も縁語よびるる其を固いと垣間みるる程空蟬み
まひまひてもあつるを書りらせよといひ一人の星るるをま
知り唯松風のささくとお不むのをを綴るる更と奥たつ風情も
ちりされども最後の鎖るるを御もさあちされて歌所の繪合を
むりも見えまるとかこまりて記まよとらん

天保丁酉開端

柳亭種彦



源氏七二編

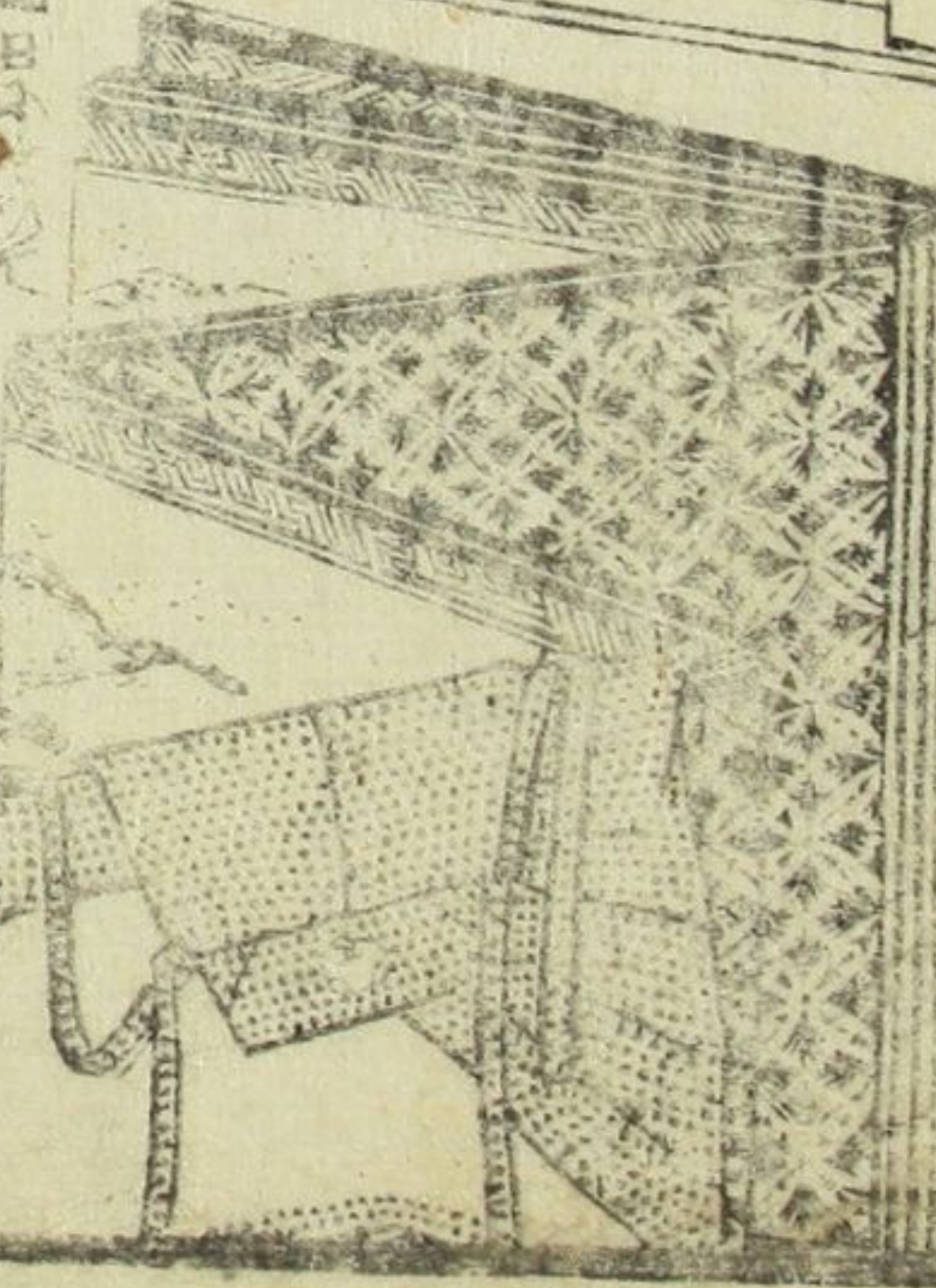
源氏廿三編



源氏廿三編

三

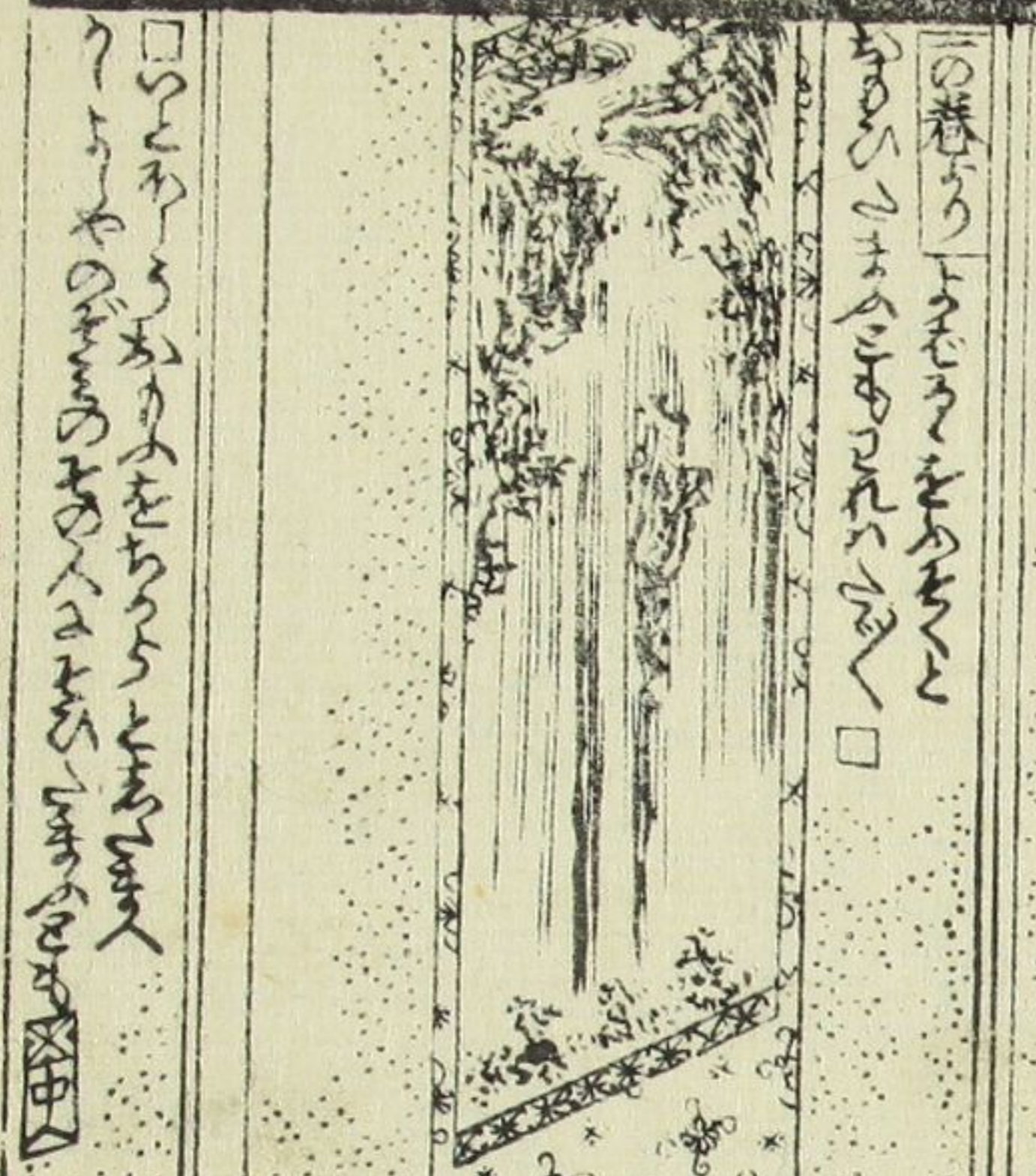
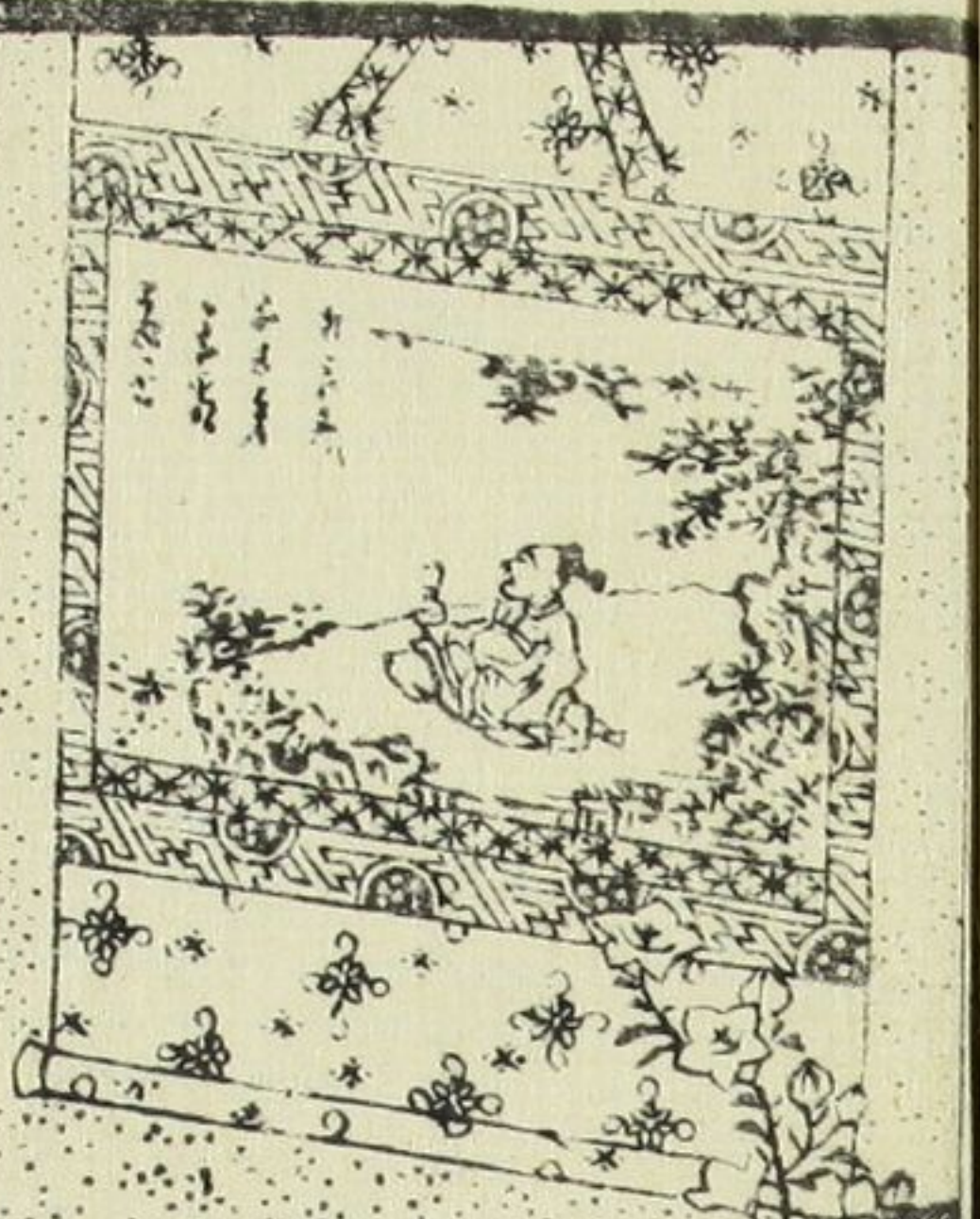
Seal of the author
Miyamoto Toku



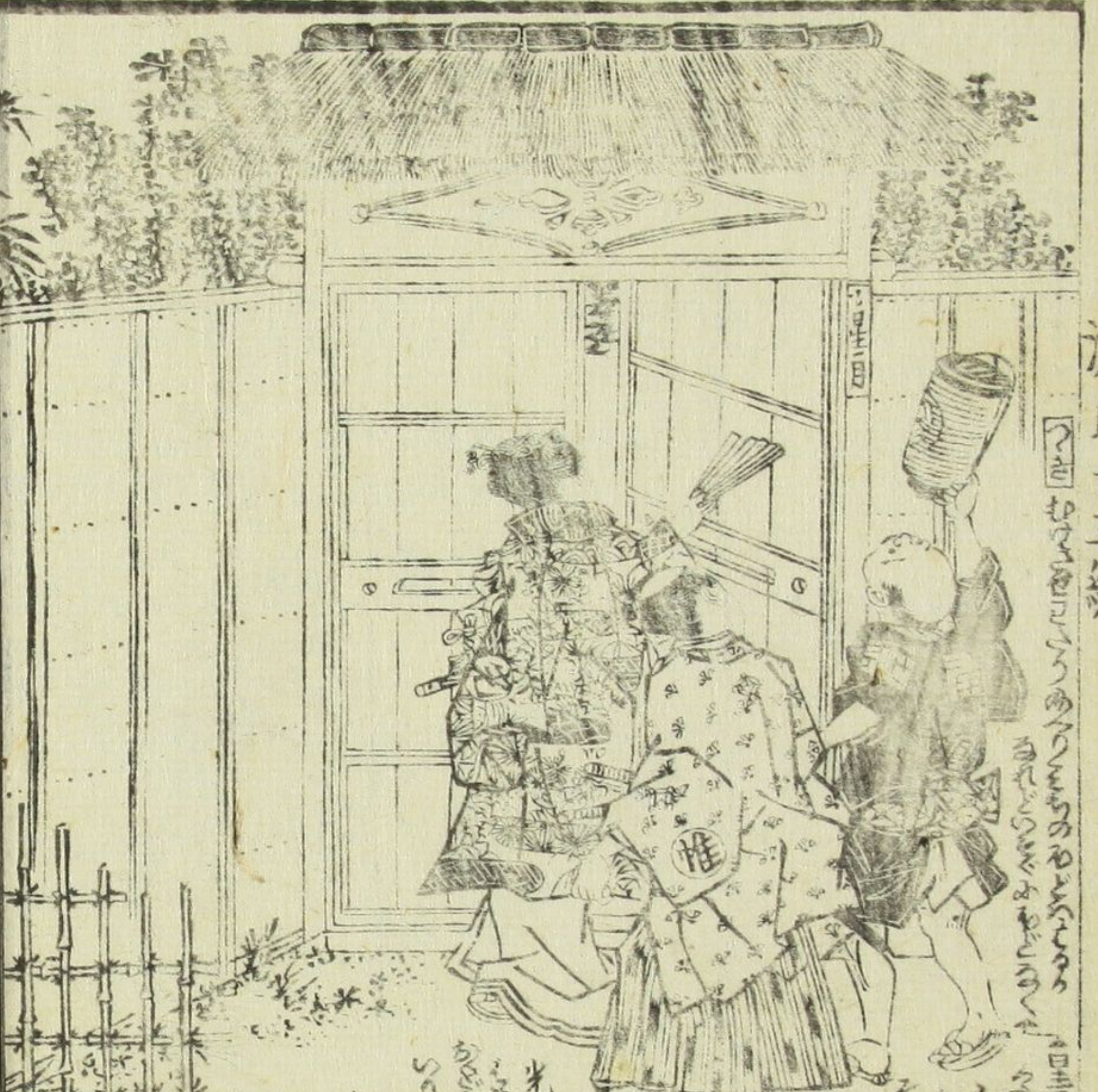
Vertical column of handwritten Japanese text on the right side of the top page.



Vertical column of handwritten Japanese text on the left side of the top page.



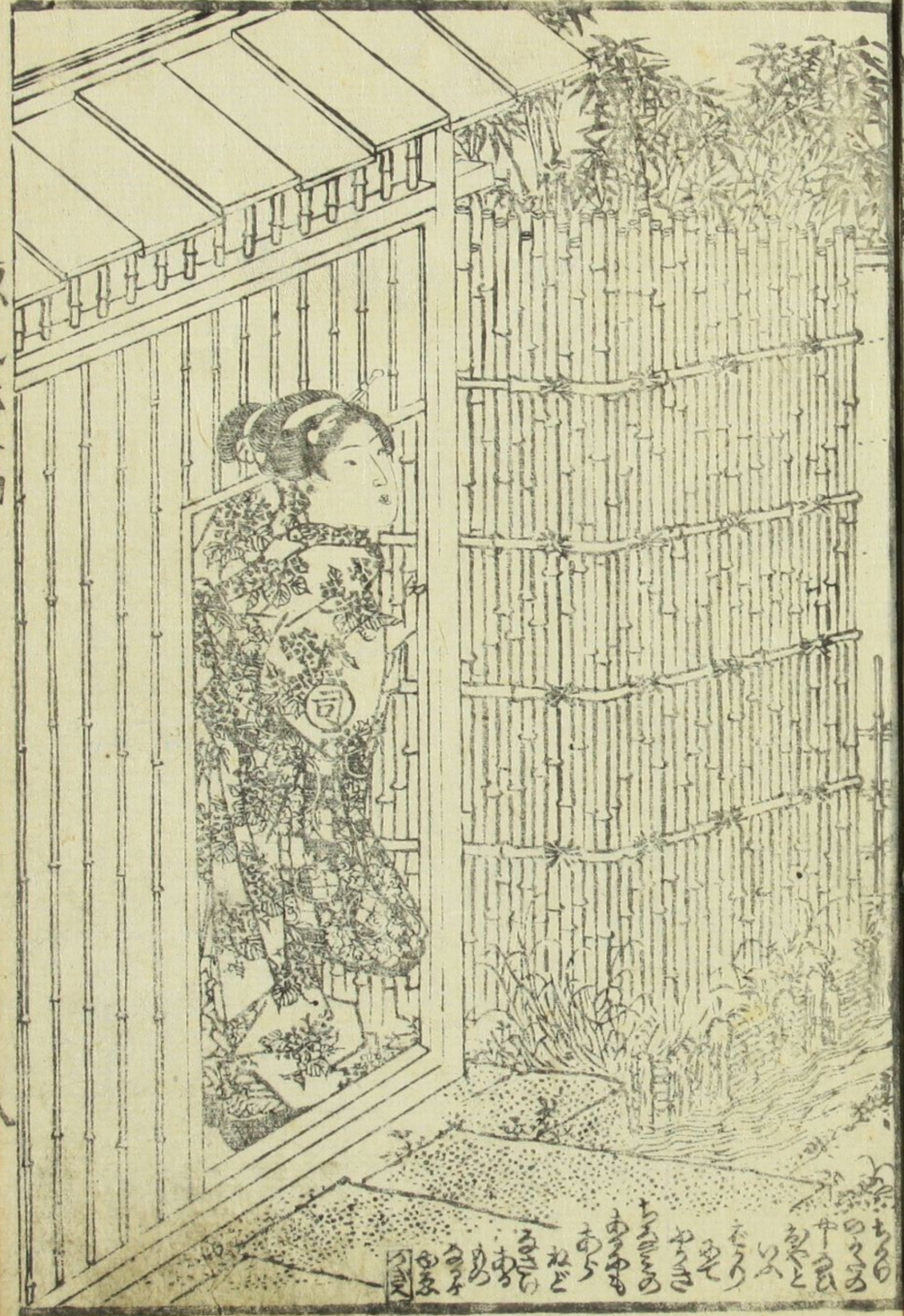
Large block of handwritten Japanese text surrounding the central illustration on the bottom page.



山崎の... 源氏十三繪の... 源氏十三繪の...

源氏十三繪の... 源氏十三繪の... 源氏十三繪の... 源氏十三繪の...

源氏十三繪の... 源氏十三繪の... 源氏十三繪の... 源氏十三繪の...

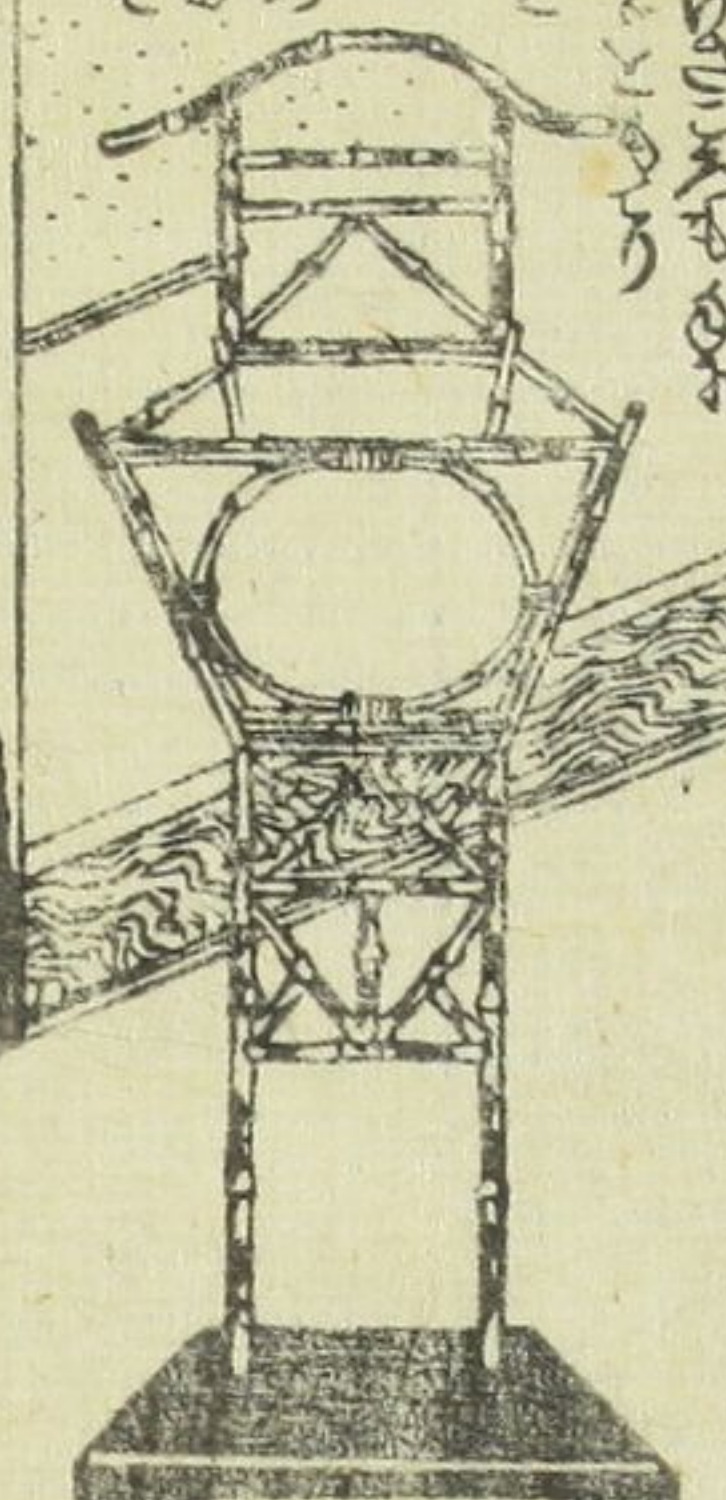


源氏十三繪の... 源氏十三繪の... 源氏十三繪の... 源氏十三繪の...

ついでにそのまゝくはるゝ
光のまはりにてはるゝ
久せんか、ちか夜うらみか
あつたまゝのまゝにわさ
のまゝにわさるゝ
まゝにわさるゝ

ついでにそのまゝくはるゝ
光のまはりにてはるゝ
久せんか、ちか夜うらみか
あつたまゝのまゝにわさ
のまゝにわさるゝ
まゝにわさるゝ

ついでにそのまゝくはるゝ
光のまはりにてはるゝ
久せんか、ちか夜うらみか
あつたまゝのまゝにわさ
のまゝにわさるゝ
まゝにわさるゝ

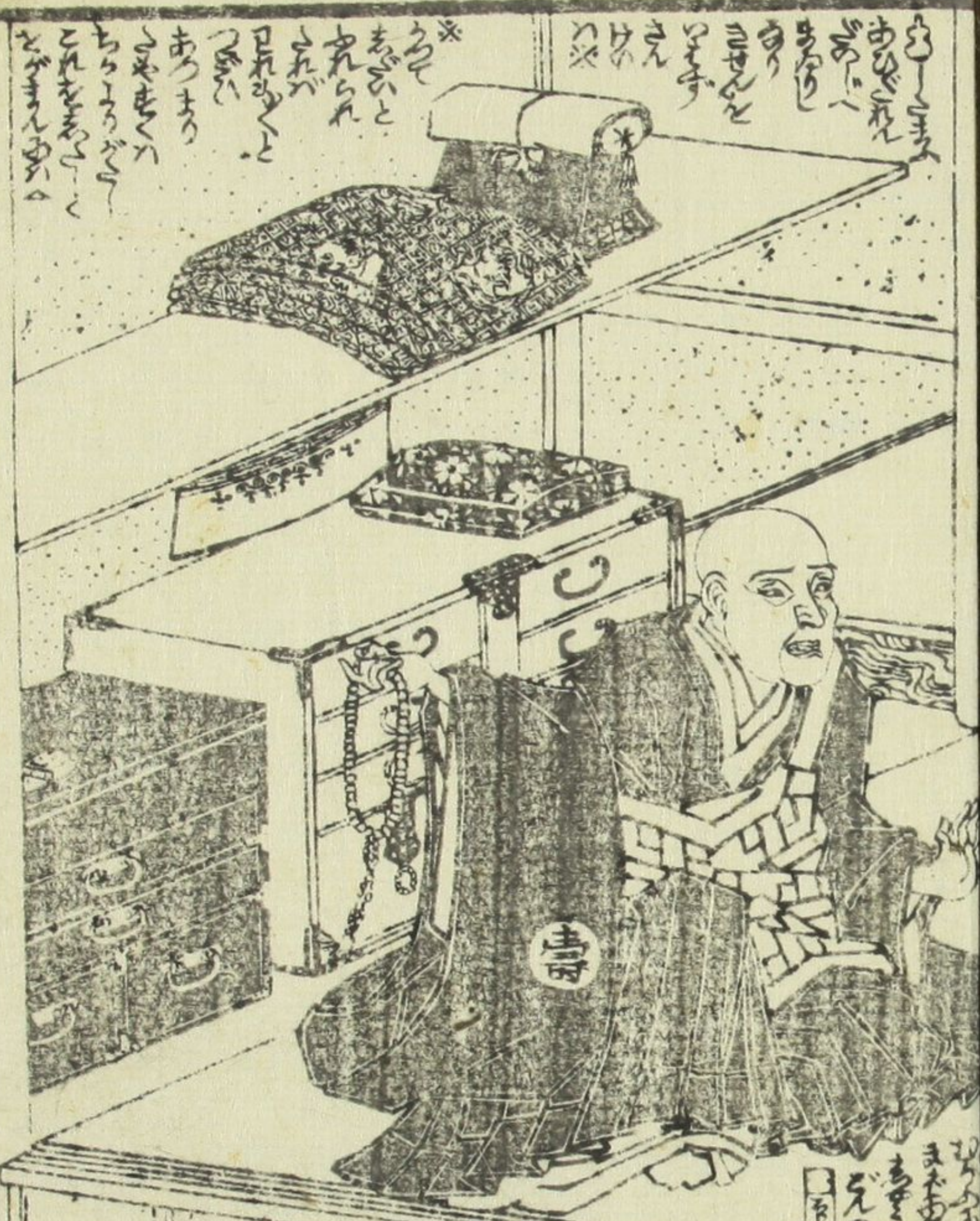


ついでにそのまゝくはるゝ
光のまはりにてはるゝ
久せんか、ちか夜うらみか
あつたまゝのまゝにわさ
のまゝにわさるゝ
まゝにわさるゝ

ついでにそのまゝくはるゝ
光のまはりにてはるゝ
久せんか、ちか夜うらみか
あつたまゝのまゝにわさ
のまゝにわさるゝ
まゝにわさるゝ

ついでにそのまゝくはるゝ
光のまはりにてはるゝ
久せんか、ちか夜うらみか
あつたまゝのまゝにわさ
のまゝにわさるゝ
まゝにわさるゝ

ついでにそのまゝくはるゝ
光のまはりにてはるゝ
久せんか、ちか夜うらみか
あつたまゝのまゝにわさ
のまゝにわさるゝ
まゝにわさるゝ



ついでにそのまゝくはるゝ
光のまはりにてはるゝ
久せんか、ちか夜うらみか
あつたまゝのまゝにわさ
のまゝにわさるゝ
まゝにわさるゝ

ついでにそのまゝくはるゝ
光のまはりにてはるゝ
久せんか、ちか夜うらみか
あつたまゝのまゝにわさ
のまゝにわさるゝ
まゝにわさるゝ

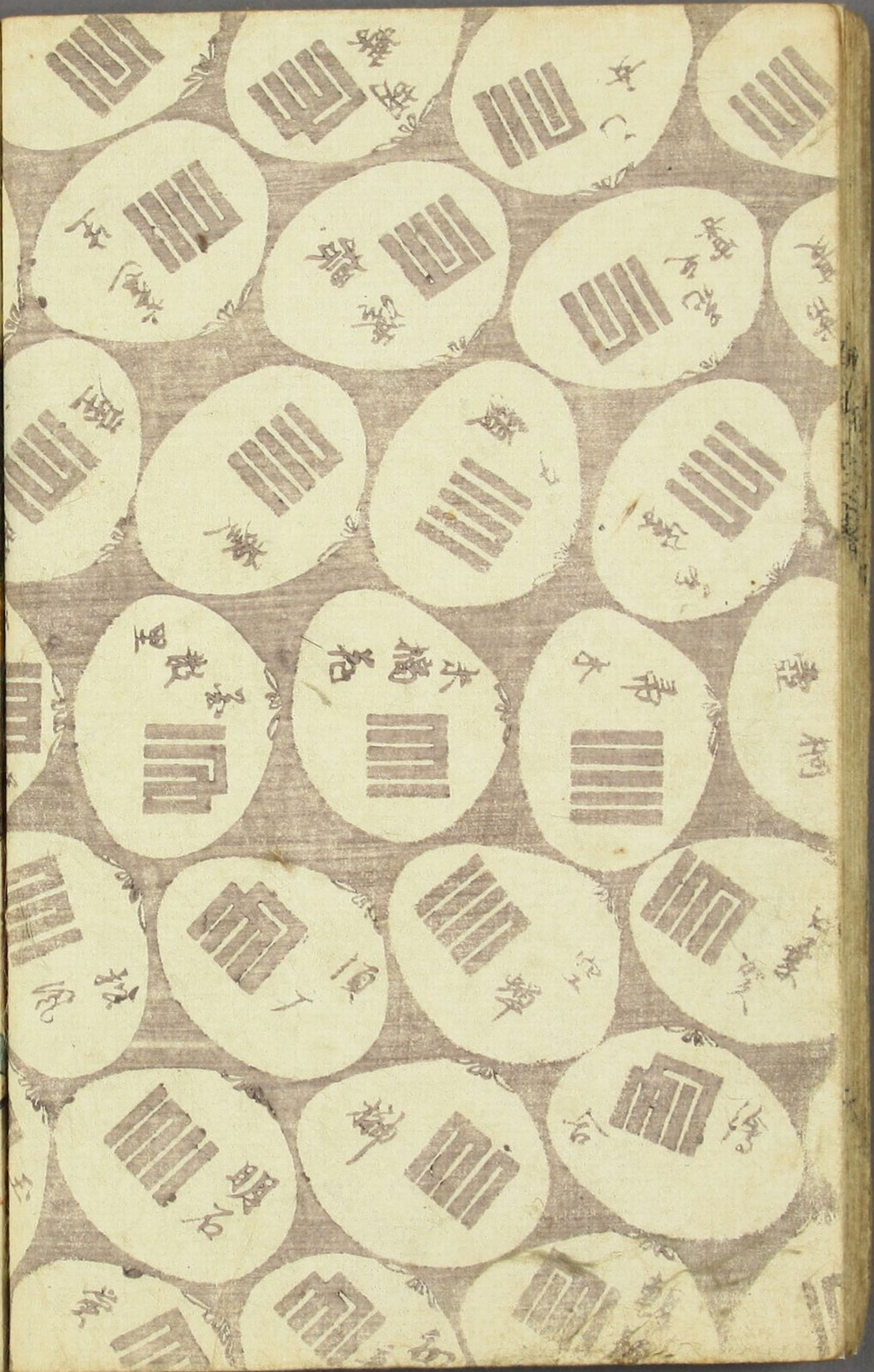
源氏

種彦下

由良西

似春
壽輝

北三編下





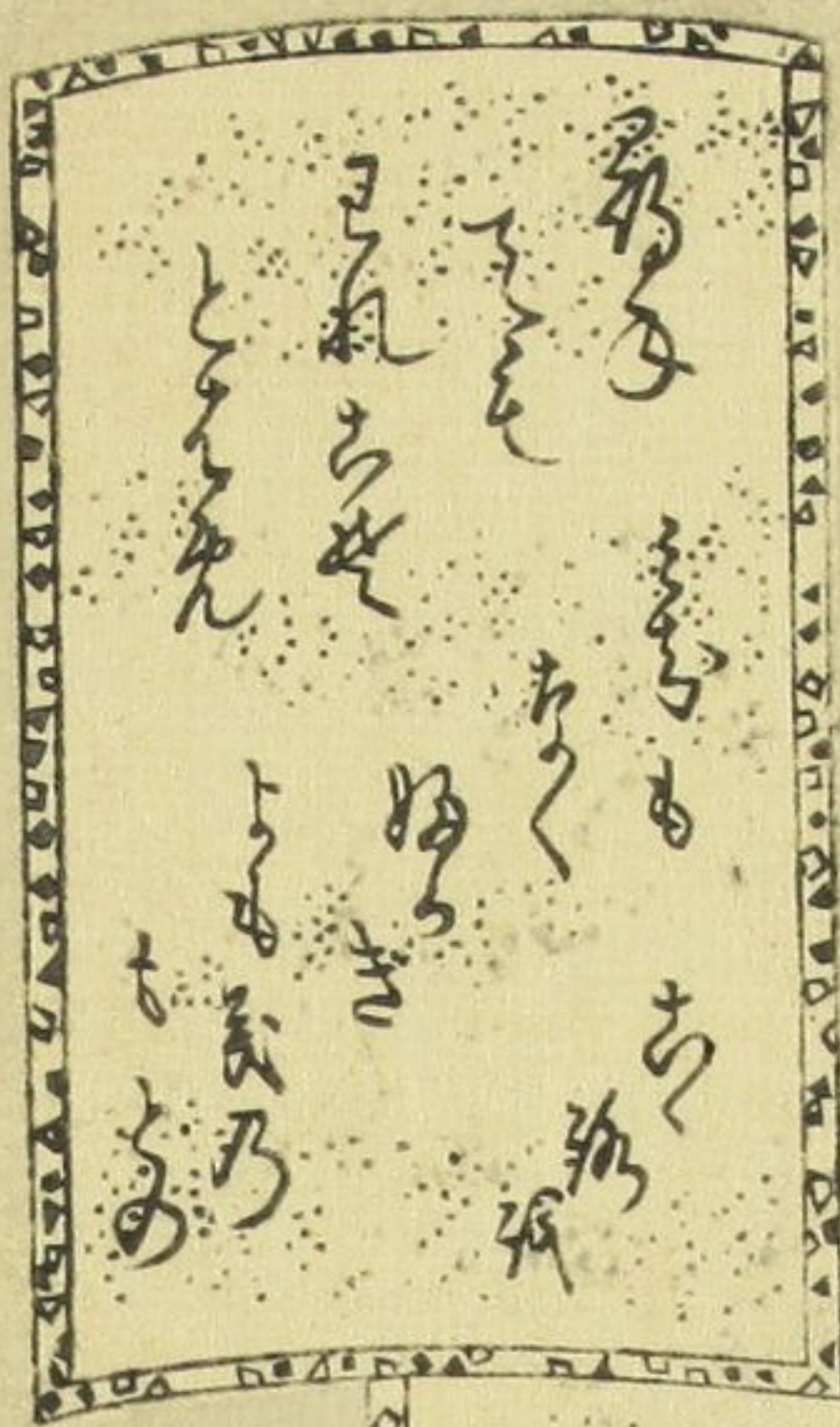
原氏北三編

十一

為奈の源氏

種彦作國貞画

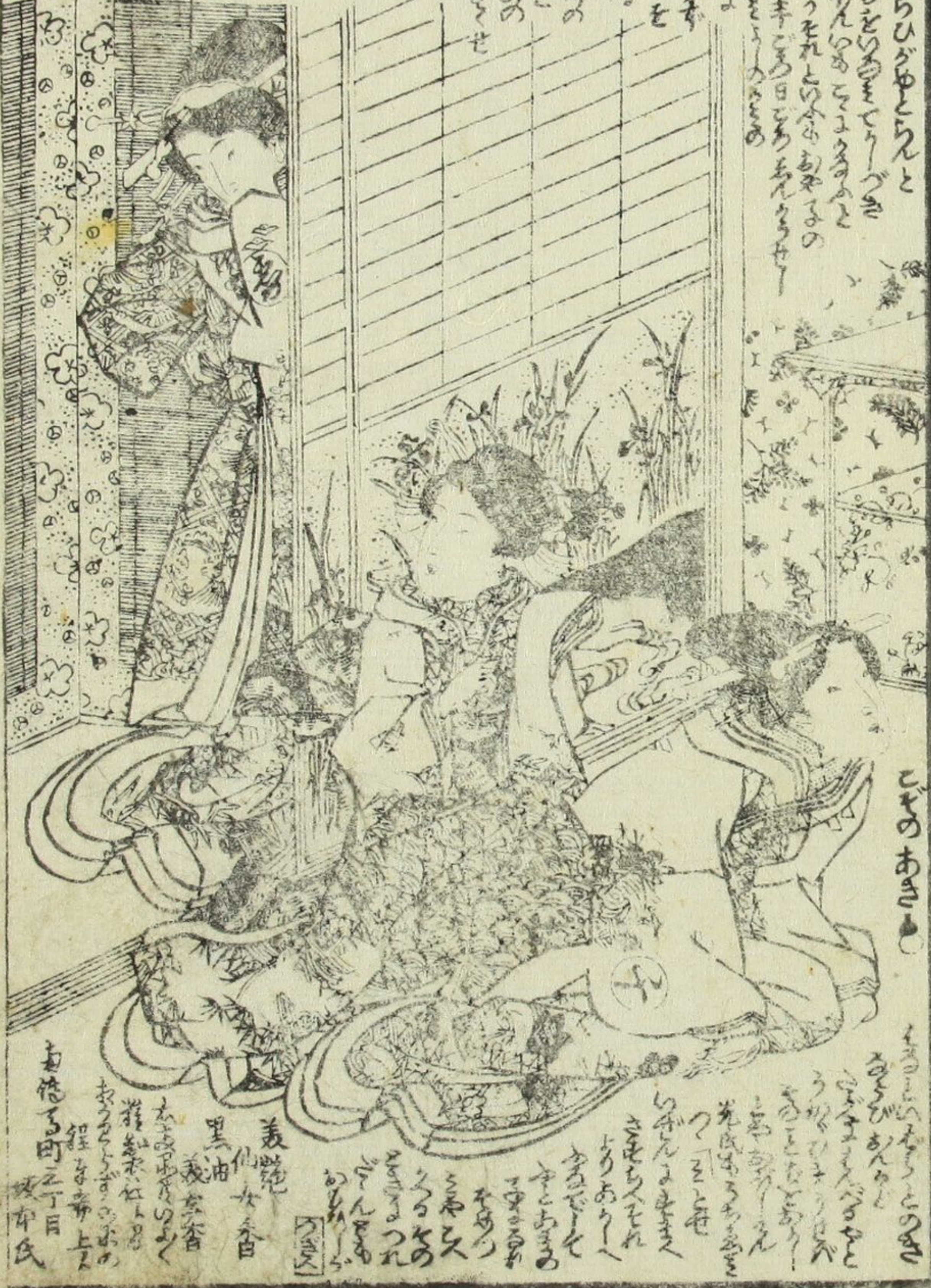
東北三編下冊



蓬生

種彦作國貞画

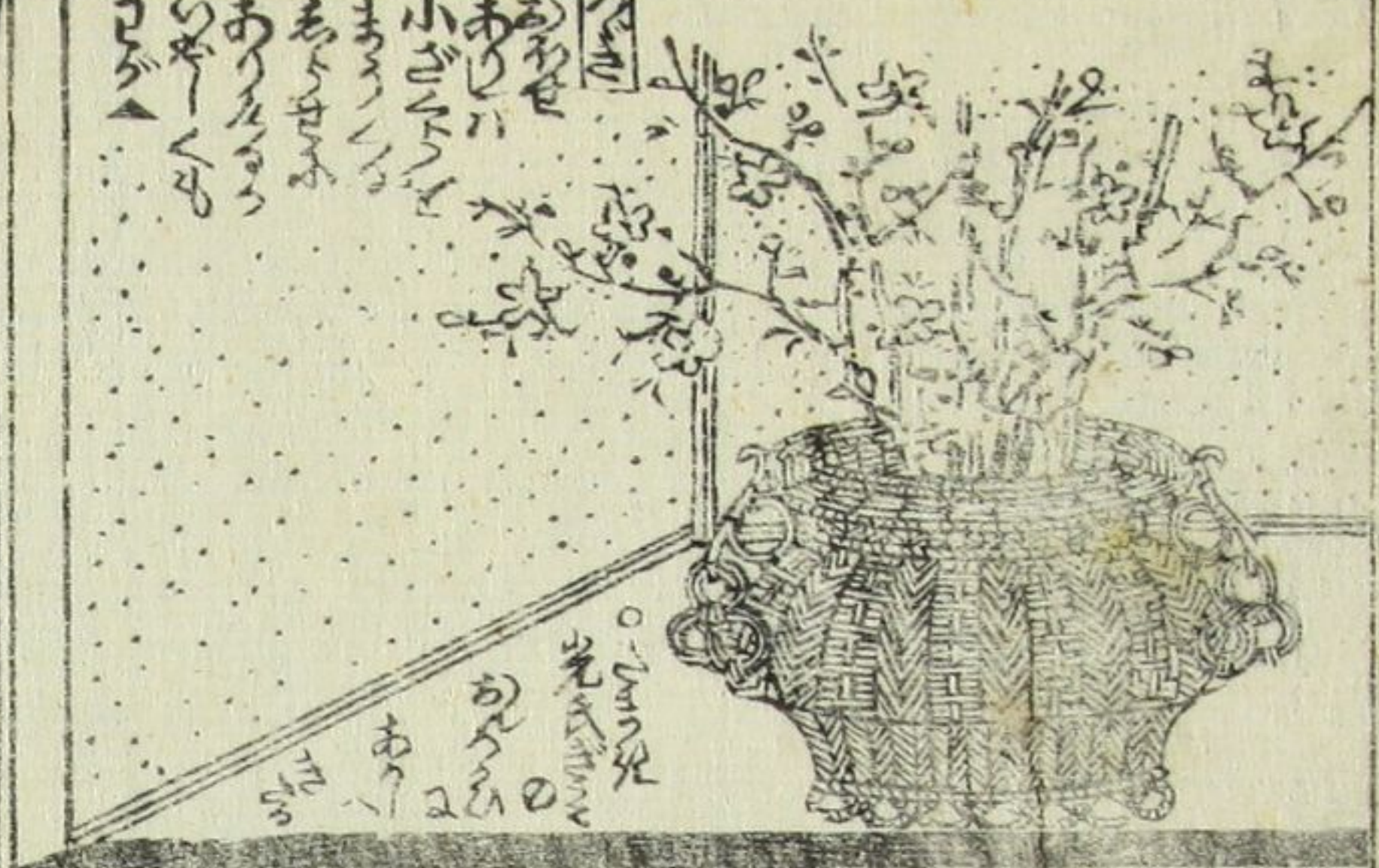
きむらひやゆりと
おのちのうらつと
いふとこれといふのあまの
あめまにひともあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの



よきあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの

原大正三

あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの



あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの
あまのあまのあまの

原大正三



原七三編

おまひ
おまひ
おまひ
おまひ
おまひ

三の巻文
おまひのひまわり
おまひのひまわり
おまひのひまわり
おまひのひまわり
おまひのひまわり

おまひのひまわり
おまひのひまわり
おまひのひまわり
おまひのひまわり
おまひのひまわり
おまひのひまわり



湖白九三編

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた
あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

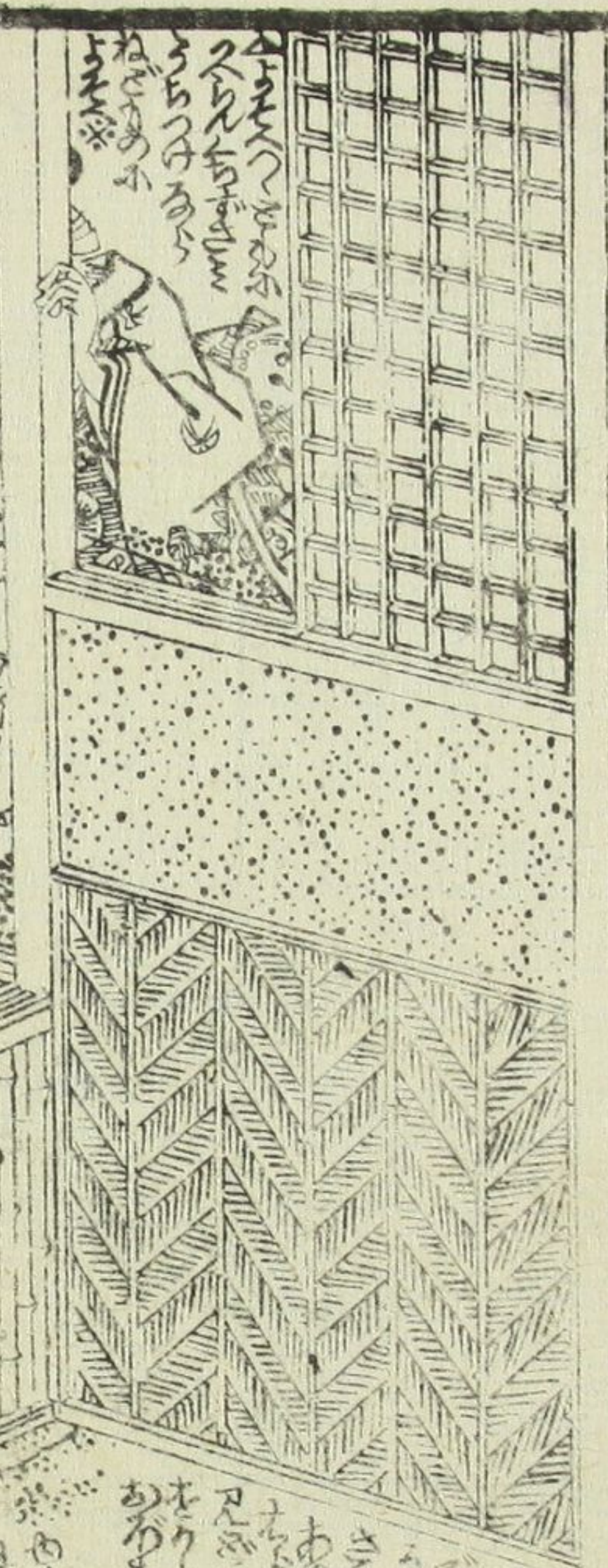
あつた
あつた
あつた
あつた
あつた
あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

十五

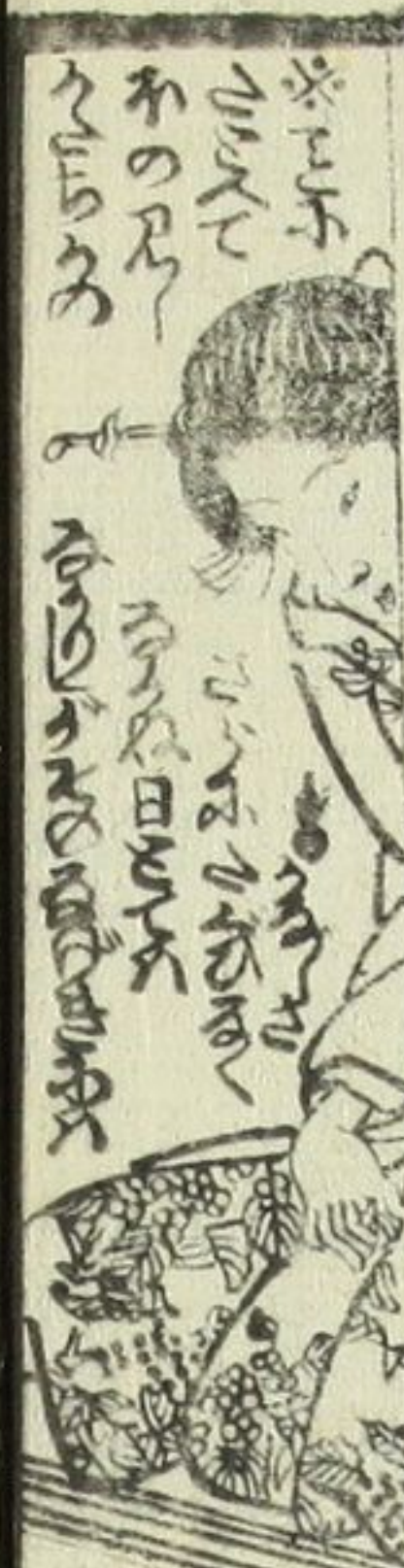


あつちのうらみ...
あつちのうらみ...
あつちのうらみ...

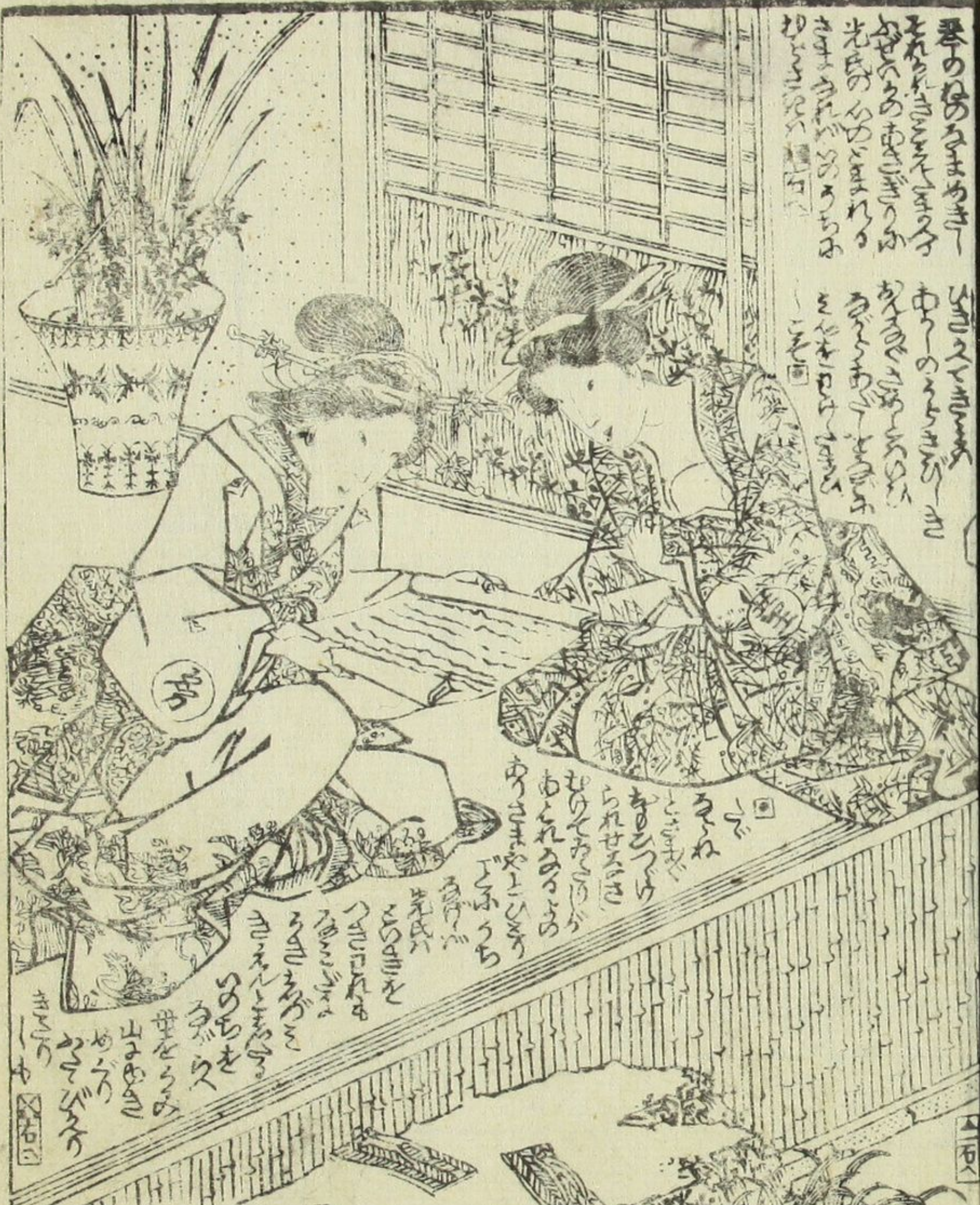
あつちのうらみ...
あつちのうらみ...
あつちのうらみ...



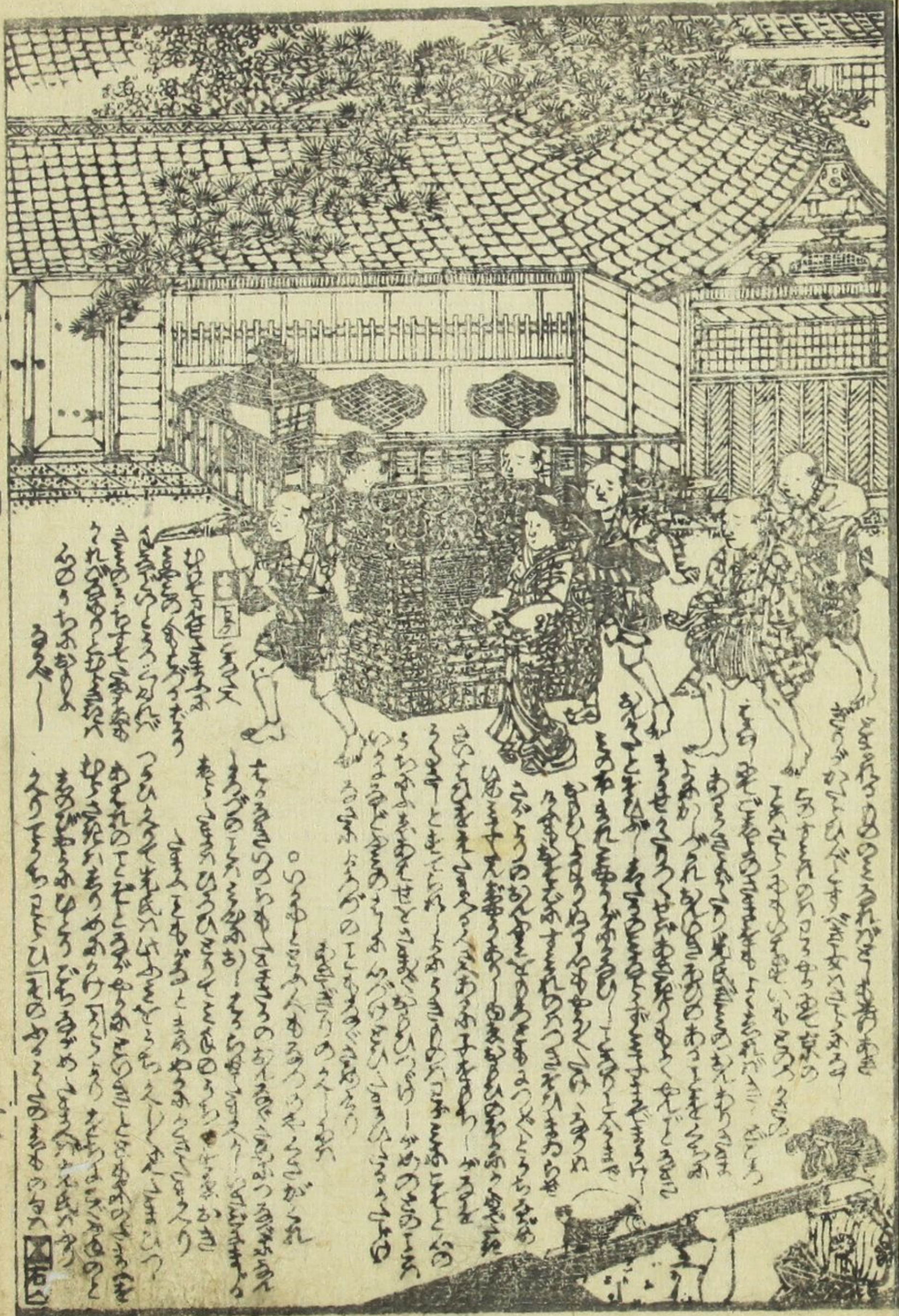
あつちのうらみ...
あつちのうらみ...
あつちのうらみ...



あつちのうらみ...
あつちのうらみ...
あつちのうらみ...

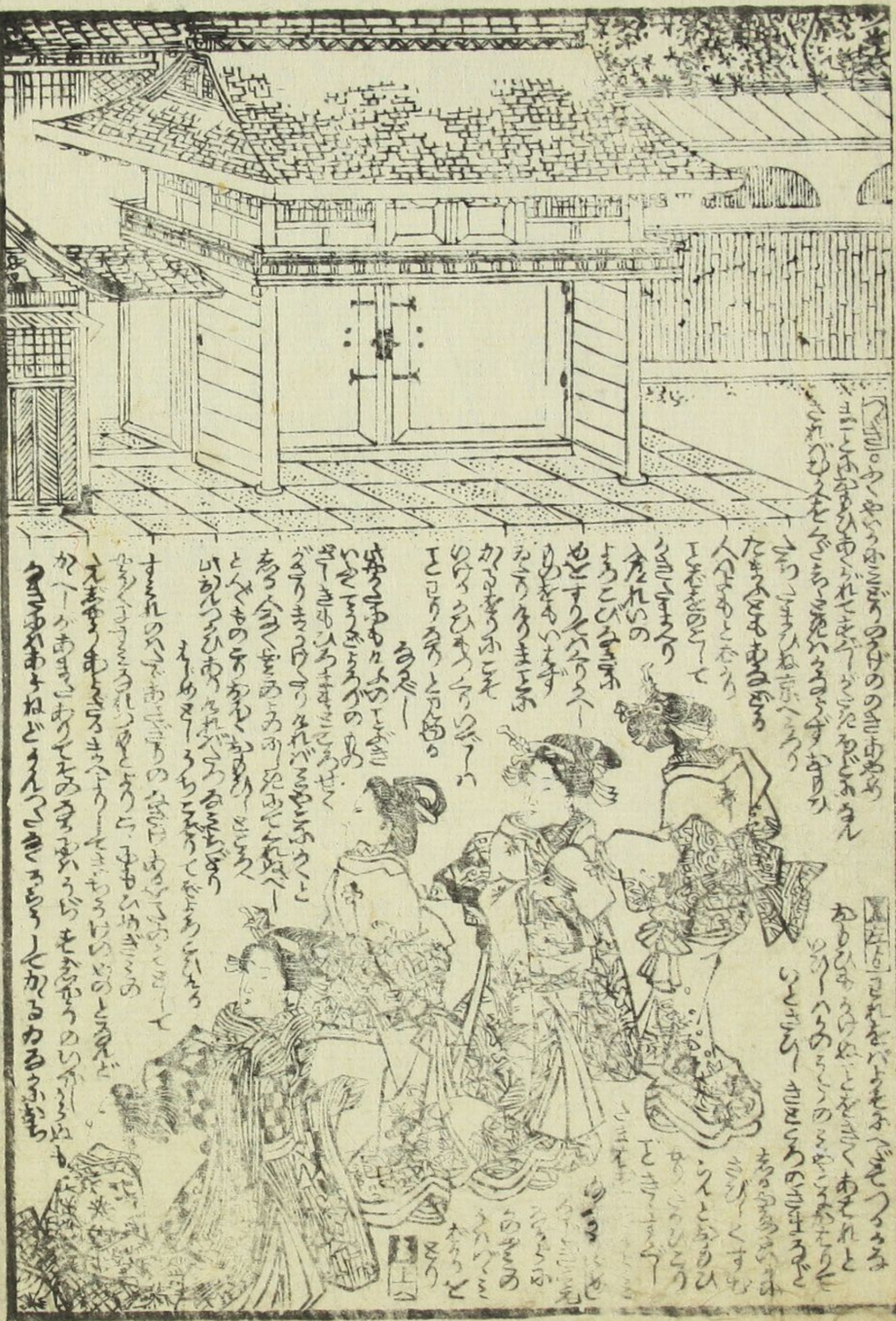


あつちのうらみ...
あつちのうらみ...
あつちのうらみ...



171

Handwritten text in a cursive style, likely a commentary or a play script, positioned below the illustration. The text is arranged in vertical columns, reading from right to left. It appears to be a transcription of a scene or dialogue related to the illustration above.



Handwritten text in a cursive style, likely a commentary or a play script, positioned below the illustration. The text is arranged in vertical columns, reading from right to left. It appears to be a transcription of a scene or dialogue related to the illustration above.

Handwritten text in the top right corner, likely a preface or commentary.

柳亭種彦作

歌川國貞画



澤書千形道友

天保八年丁酉初春新彫

修紫田舎源氏

当年廿二編より廿六編まで用板おかしき事多し笑覚えし程幸希也

柳亭種彦作
歌川國貞画

一筋道雪眺望

歌川國芳画
全四冊

飛翼連理恋の櫻樹

歌川國芳画
通用序徳成作

森羅万象心意氣

歌川國芳画
全四冊

歌鯉着身業物

歌川國芳門裡画
全四冊

琴声女房形氣

歌川國貞画
全四冊

茶室のいろは

昔浦島翁
三冊

義艶仙女香
里油美玄香

四十八銅
三日月町
坂本氏製



書物錦繪
團扇地紙

問屋

江戸通油町

鶴屋喜右衛門

Handwritten signature in cursive script, likely a collector's or owner's mark.



